



問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は町や住民の状況をとらえた事業活用がなされているのか

答 感染防止対策や住民の生活や経済、事業支援、物価高騰対応等、幅広い視点で事業活用をしている

本臨時交付金は感染拡大の影響を受けた地域経済や住民生活を支援する目的で、町も令和2年度より交付金の事業を展開している。また、本年9月9日には国対策本部から新たな地方交付金の創設

が示されているが。

問 現在までの交付金を充当した事業は。また、今後の交付金の活用は。

まちづくり戦略課長 交付金充当事業は表に示したとおりで

す。なお、9月に通知された交付金はエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者向けの事業と推察しますが、今後、国の情報を注視しながら町の実情に合った支援事業を進めていきます。

表 - 1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 令和2年・3年度及び4年度事業概要

令和2年・3年度事業の対象	活用事業数	令和2年・3年度 主な事業内容	交付対象経費	割合
地域支援	25	プレミアム商品券の発行、子育て応援給付、道の駅ごか周辺整備(スポーツパーク等)他	92,687千円	42%
感染防止対策	17	防災ステーションごか隣接地整備、感染防止必需品供給他	56,526千円	26%
教育環境整備	8	児童・生徒1人1台パソコン整備、教員オンライン学習研修他	34,612千円	16%
新しい生活様式への環境整備	11	庁舎等施設空調、庁舎電算システム整備、公園整備他	26,845千円	12%
事業者支援	1	中小企業者への給付	7,939千円	4%
合 計	62		218,609千円	100%

令和4年度事業の対象	活用事業数	令和4年度 主な事業内容	交付対象経費	割合
物価高騰の影響を受けた生活者や事業者支援	継続中	○物価高騰の影響を受けた米農家への支援 ○小中学校の給食費の免除	25,158千円 (全体67,029千円)	38%

問 公共交通の今後について

答 町民に納得してもらえる公共交通の構築に努めていく

令和3年度監査委員の意見書で財政状況を考慮し、コミュニティ交通の費用対効果や利用実態に合わせた運行が要望された。また、代替バス五霞町役場～幸手駅の運行も、地域情勢変化を考慮し、検討すべき段階にあると考えるが。

問 先に開催された公共交通会議の議題は。

生活安全課長 主に今年度の町コミュニティ交通運行計画、地域内フィーダー系統保

持維持計画について提案し、承認をいただいております。

問 代替バスの運行状況の把握は。

生活安全課長 利用実態の把握に必要な情報の収集と提供を引き続き朝日自動車(株)に要望してまいります。

問 代替バスの小型化等は。

生活安全課長 現在使用している車両の原価償却が終了し、本年度以降、一般財源か

らの経費負担の抑制が図られることから、小型車導入等は慎重な検証が必要と考えております。

問 幸手市との協議は。

生活安全課長 今年度から幸手市地域公共交通会議に五霞町職員が委員として参画することになっており、代替バス等の運行について利活用を含め更なる連携の強化を要望していきたいと考えます。